



13
1961
65



へ3
1961
65

自叙

道家たうか富言とみごんあり。佛家ぶつが方任かたにんあり。吾家われが謀計ぼうけいあり。帝人ていじんの急直いそぢく也。阿曹あそう以もつの空くうももて
行ゆく。虚こゝろかかると。是皆これみな家以かもつ齊せいへを
脩しゆむ。虚こゝろめく。中ちゆう小せうにのつ。實じつと生なまと。虚こゝろ
雑劇ざつげきの。實じつなる。根ねとけり。此こゝ禪史ぜんしの音趣おんそ也。此こゝも
故ゆゑ。此こゝ辭ことばも。題号だいごうも。あり。

寛政九丁巳初春

山東京傳識





神の御心は
 人の御心とは
 異なるなり
 神の御心は
 人の御心とは
 異なるなり
 神の御心は
 人の御心とは
 異なるなり



神の御心は
 人の御心とは
 異なるなり
 神の御心は
 人の御心とは
 異なるなり



神の御心は
 人の御心とは
 異なるなり
 神の御心は
 人の御心とは
 異なるなり



神の御心は
 人の御心とは
 異なるなり
 神の御心は
 人の御心とは
 異なるなり



〇ういふはあつちのあつちよ
 うこれしつちをせぬ
 しゆいよやいふせぬ
 むのいふはあつちのあつちよ
 ちりていふはあつちのあつちよ
 そのいふはあつちのあつちよ
 ちりていふはあつちのあつちよ



あけつていふ

〇ういふはあつちのあつちよ
 うこれしつちをせぬ
 しゆいよやいふせぬ
 むのいふはあつちのあつちよ
 ちりていふはあつちのあつちよ
 そのいふはあつちのあつちよ
 ちりていふはあつちのあつちよ



〇ういふはあつちのあつちよ
 うこれしつちをせぬ
 しゆいよやいふせぬ
 むのいふはあつちのあつちよ
 ちりていふはあつちのあつちよ
 そのいふはあつちのあつちよ
 ちりていふはあつちのあつちよ



〇ういふはあつちのあつちよ
 うこれしつちをせぬ
 しゆいよやいふせぬ
 むのいふはあつちのあつちよ
 ちりていふはあつちのあつちよ
 そのいふはあつちのあつちよ
 ちりていふはあつちのあつちよ



〇ういふはあつちのあつちよ
 うこれしつちをせぬ
 しゆいよやいふせぬ
 むのいふはあつちのあつちよ
 ちりていふはあつちのあつちよ
 そのいふはあつちのあつちよ
 ちりていふはあつちのあつちよ



京傳作

赤牛を主人に返すため
のりをはめぬはらへて
ともしきりれまうし
くぬさもたむと
らにほらちちあひに
まをわらわす毎
とてやうさうの
人をいんごうそ
きんごうさ
まのれはらんごん
たてのちのさ
つららよん
はあはあはあは
おのれくごうの
おごうい
下んま
まづこんごんの
これであてく
うちまめませう



もつり
おのれくごうの
まづこんごんの
これであてく
うちまめませう

ウツカラ デス
虚生 冥草紙

京傳作

赤平先生曰すももの
 のりをあめはらあて
 とよもきつれまじく
 くぬさもたを
 らうららちちあひに
 んをわちあすあ
 こてT-やここの
 人せんくごて
 きんくごて
 ちめくれんげん
 ちめくれんげん
 つららよこん
 ちめくれんげん
 おのれくごの
 おごのい
 T-んまよ
 まらこんげんの
 これてめてく
 うららあませう



此は序の披露
 赤平先生曰すももの
 のりをあめはらあて
 とよもきつれまじく
 くぬさもたを
 らうららちちあひに
 んをわちあすあ
 こてT-やここの
 人せんくごて
 きんくごて
 ちめくれんげん
 ちめくれんげん
 つららよこん
 ちめくれんげん
 おのれくごの
 おごのい
 T-んまよ
 まらこんげんの
 これてめてく
 うららあませう



